

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
阿見吉原地区

平成26年3月

茨城県阿見町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地区内の人口	人	37	500	34	確定 ● 見込み	×	あり ● なし ●	39	H26年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	区画整理事業が進むにつれて人口は微増した。まだ事業期間中ということもあり微増だが、事業終了後は大幅な増加が見込まれる。
指標2	歩行者・自転車数	人/12H	10	50	30	確定 ● 見込み	△	あり ● なし ●	179	H25年9月	○	誘致企業数の増加及び、地区内の道路環境が整備された。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市施設の整備を実施したこと、誘致企業数が増えたことにより、歩行者・自転車の通過交通が増加した。
指標3	誘致企業数	社	0	2	2	確定 ● 見込み	○	あり ● なし ●	5	H26年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	質の高い都市基盤の構築及び良好な住環境をアピールした結果、企業の立地促進につながった。
指標4						確定 ● 見込み		あり ● なし ●		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ● 見込み		あり ● なし ●		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	阿見東IC利用台数	台	974,737	/	1,330,000	確定 ● 見込み	/	/	1,329,500	H26年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	誘致企業数の増加、事業PRにより従前値から大幅に増加したが、フォローアップ後、地区の骨格となる都市計画道路が開通したこと、今後、圏央道が大栄JCTへ接続することを踏まえると、利用台数は一層増加が見込まれる。
その他の数値指標2	従業員数	人	288	/	1,542	確定 ● 見込み	/	/	1,706	H26年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前値から大幅に増加したが、区画整理地内の誘致エリアが多数残っていることから、今後も増加が見込まれる。
その他の数値指標3	安全歩行空間率	%	62.2	/	91.0	確定 ● 見込み	/	/	81.1	H26年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市施設の整備を実施したことにより、歩行者・自転車の通過交通の増加につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	地区内利用台数の交通誘導	公共施設等情報板設置、事業PR	計画策定当初より地区内利用台数は増えるものの、公共施設等情報板設置、事業PRを適宜行った結果、適切な交通誘導が図られたことにより、目立った交通渋滞の発生はなかった。	引き続き、道路ネットワークの周知・案内を徹底させることで、地区及び周辺交通誘導を図り、交通渋滞の解消に努める。
	地区の玄関口としてふさわしい景観づくり	景観形成道路の指定、地区計画の策定	景観形成道路の指定及び地区計画を策定した結果、進出企業に対して景観への配慮を求めることができた。また、地区計画の策定により、良好な住環境の形成が図られた。	土地区画整理事業の事業計画変更または事業進捗に伴い、新たな地区計画等を策定し、景観に配慮したまちづくりを継続していく。
	公園等の公共施設の景観維持	公園緑地里親制度の導入に向けた検討	公園緑地の里親申出の問い合わせがあり、現在相手方と里親認定に向けて協議を進めている。	今後も、地域住民と連携した維持管理体制をとり、当事業で整備した街区公園や緑地等の適切な維持管理に努める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	広域道路ネットワークの構築	関連事業の土地区画整理事業による道路整備	地区内の都市計画道路が一部開通となり、自動車交通の分散化が促進された。	引き続き都市計画道路等の整備を進め、広域道路ネットワークの構築を図る。
	公共施設のネットワーク化	街区公園整備、緑地整備、調整池兼多目的広場整備を行い開園	街区公園及び緑地、調整池兼多目的広場の整備をしたことで、地区内の一部の公共施設のネットワーク化が図られた。	今後も、引き続きⅡ期計画の中で近隣公園整備や街区公園・緑地整備を行い、地域全体で公共施設や公園・緑地のネットワーク化を図り、定住者・来街者ともに喜ばれる質の高いまちづくりを推進していく。
	安全・安心な交通環境の提供	既存道路の修繕	既存道路の修繕を行うことで、安全で快適な住環境の整備につながった。	住民の要望を踏まえながら、引き続き、快適な住環境となるよう取り組みを続ける。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項